

減薬という旅の彼方に ～学ぶことで薬を減らそう～

誰もが生きていく中で心が疲れたり、心の病となったりします。時には治療が必要となります。薬をのむだけが精神科の治療ではなく、医師をはじめとする医療スタッフとコミュニケーションをとりながら、本人が主体的に参加する学ぶ治療が必要とされています。

小林 和人先生から「減薬という旅の彼方に～学ぶことで薬を減らそう～」と題して、事例を交えてお話し頂きます。薬物療法を恐れ過ぎずに正しく付き合うこと、病気や治療法を学ぶこと、同じ悩みを持つ人たちと交流すること、日頃から生活習慣を意識することなどの大切さを確認する内容です。東北の地方都市にある精神科病院が新しい治療を目指してどう変わったのか、この10年の歩みについても概要をお話し頂きます。

日 時 : 2024 (令和6) 年10月26日 (土)
午後1時30分 ~ 午後4時 (開場 午後1時)

会 場 : 横浜市健康福祉総合センター 4階ホール
横浜市中区桜木町1-1

講 師 : 小林 和人 氏
特定医療法人山容会 山容病院 理事長・院長

定 員 : 会場 300名 (先着順)
Zoom 50名 (先着順)

※Zoomでご参加を希望される方は10月11日(金)迄に
裏面要領で申し込みください

入 場 料 : 無 料

主 催 : NPO法人横浜市精神障害者家族会連合会 (浜家連)
はまかれん

問い合わせ : 担 当 中居 TEL : 045-548-4816

小林 和人氏 プロフィール

特定医療法人山容会 山容病院 理事長・院長

東京大学医学部を卒業後、同大学附属病院精神科で研修し、福島県内の病院に2年勤務した後、自転車でシルクロード横断(西安からローマ、単独)、オーストラリア横断(ブリスベンからパース)を行う。2008年、縁もゆかりもなかった山形県酒田市の山容病院へ就職、2011年院長、2014年理事長に就任。経営、病院管理、臨床の3役をこなし、減薬に取り組みながら、病院改革、地域での啓発、医師会業務、講演活動にも力を注いでいる。

「病院を変えるにはシステムから直さないといけない」という思いのもと、山容病院を地域に絶対的に必要な、警察署や消防署と同じインフラとして確立することを最大の目標としている。4児の父でもある。

会場案内

横浜市健康福祉総合センター

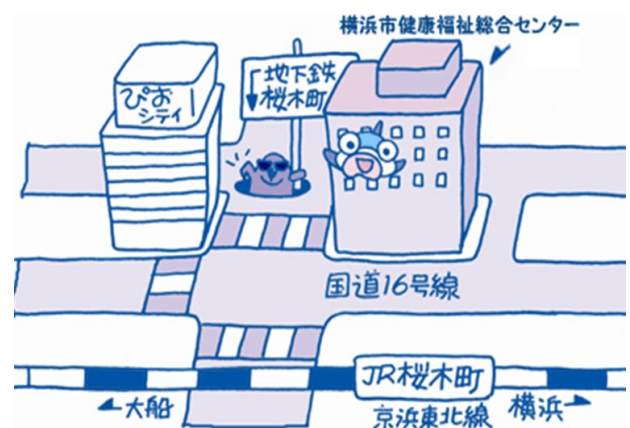
4階ホール

横浜市中区桜木町1-1

最寄り駅: JR京浜東北線

横浜市営地下鉄

「桜木町駅」から徒歩3分



★Zoomでの参加をご希望されるの方

フリガナ

氏名、e-mailアドレス、電話番号を記載してメールで

浜家連 (ysskr@bloom.ocn.ne.jp) までお申込み下さい。